

SYMETRIC



roundabout

ユーザマニュアル

Apache 設定リファレンス

第 10 版

最終更新日 2011/4/25

目次

第 1 章	ディレクティブ一覧	9
1-1	ディレクティブ一覧	9
第 2 章	初期状態	13
2-1	roundabout.conf の編集	13
2-2	roundabout-vhost.conf を編集	15
第 3 章	言語変換用ディレクティブ	20
3-1	SetHandler	20
3-2	RALCAdjustImageScale	20
3-3	RALCApendBalancerParamHtml	21
3-4	RALCAutoReload	22
3-5	RALCBalancerParam	22
3-6	RALCCacheRoot	23
3-7	RALCTempRoot	23
3-8	RALCChargeId	24
3-9	RALCChargeLogFile	24
3-10	RALCConversionSheetFile	25
3-11	RALCCrawlerGroupFile	25
3-12	RALCCssCacheRefreshTime	26
3-13	RALCDefaultCacheRefreshTime	26
3-14	RALCDeviceGroupFile	27
3-15	RALCEngine	28
3-16	RALCGlyphConversionSheetFile	28

3-17	RALCHtmlSizeOverUrl	29
3-18	RALCIgnoreCache.....	29
3-19	RALCImage	30
3-20	RALCImageAutoScaleGif	31
3-21	RALCImageAutoScaleJpeg.....	31
3-22	RALCImageAutoScalePng.....	32
3-23	RALCImageMagickHome.....	32
3-24	RALCImageResizeGroup	33
3-25	RALCImageScale	33
3-26	RALCImageServer.....	34
3-27	RALCImgFileDispatch.....	35
3-28	RALCImgReserveSize.....	36
3-29	RALCLicenseFile	36
3-30	RALCObjectResourceSize.....	37
3-31	RALCPi.....	37
3-32	RALCRAICParamFormat.....	38
3-33	RALCRAICParamIgnoreCache	38
3-34	RALCRAICParamSize.....	39
3-35	RALCRAICParamSpacer	39
3-36	RALCRAICParamWidth	40
3-37	RALCReduceJpeg.....	40
3-38	RALCServerNo.....	41
3-39	RALCSourceEncoding	41

3-40	RALCSpacerImage.....	42
3-41	RALCTerminfoFile.....	42
3-42	RALCTerminfoHeader.....	43
3-43	RALCUnsupportFile.....	43
3-44	RALCUnsupportUrl.....	44
3-45	RALCWorkRoot.....	45
3-46	SetOutputFilter.....	45
第 4 章	画像変換用ディレクティブ.....	47
4-1	AddHandler.....	47
4-2	RAICBalancerParam.....	47
4-3	RAICCacheRefresh.....	48
4-4	RAICCacheRoot.....	48
4-5	RAICTempRoot.....	49
4-6	RAICChargeId.....	49
4-7	RAICChargeLogFile.....	50
4-8	RAICCrawlerGroupFile.....	50
4-9	RAICEngine.....	50
4-10	RAICImageMagickHome.....	51
4-11	RAICLicenseFile.....	51
4-12	RAICMaxImagePixel.....	52
4-13	RAICMaxImageSize.....	52
4-14	RAICParamFomrat.....	53
4-15	RAICParamIgnoreCache.....	53

4-16	RAICParamSize	54
4-17	RAICParamSpacer	54
4-18	RAICParamWidth	54
4-19	RAICRetryTime	55
4-20	RAICServerNo	55
4-21	RAICWorkRoot.....	56

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第 1 版	2009 年 2 月 20 日	初版発行
第 2 版	2009 年 5 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・2 章 2-19 RALCImageServe: .htaccess に対応した旨の記述追加 ・2 章 2-27 RALCRAICParamSpacer: 書式の記述を修正 ・3 章 3-7 RAICMaxImagePixel、3-8 RAICMaxImageSize、3-13 RAICRetryTime: コンテキストからディレクトリを削除
第 3 版	2009 年 9 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・1 章「初期状態」追加 ・3 章 3-8 RALCCrawlerGroupFile 追加 ・3 章 3-31 RALCServerNo 追加 ・4 章 4-14 RAICServerNo 追加
第 4 版	2009 年 11 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂履歴ページの追加 ・1 章「初期状態」を 2 章に移動 ・2 章「ディレクティブ一覧」を 1 章に移動 ・2 章ディレクティブ一覧の内容を改変 ・3 章 3-13 RALCIgnoreCache 追加 ・3 章 3-28 RALCRAICParamIgnoreCache 追加 ・4 章 4-10 RAICParamIgnoreCache 追加 ・3 章、4 章ディレクティブ解説から「IU 版」削除 ・3 章、4 章ディレクティブ解説に「長期試用版 (Seed)」追加 ・3 章 3-33RALCServerNo: の利用可能なライセンスに Lite 版を追加 ・3 章 3-21RALCImageServer: .htaccess に対応したのは 1.0.4 以降である旨の記述を追加
第 5 版	2010 年 1 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・3 章 3-6 RALCChargeLogFile: 設定例の誤字修正
第 6 版	2010 年 8 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・2 章「ディレクティブ一覧」に 1.2.0 で新たに追加されたディレクティブを追加 (RALCCssCacheRefreshTime, RALCBalancerParam, RAICEngine, RAICCacheRefresh, RAICBalancerParam, RAICCrawlerGroupFile)

		<ul style="list-style-type: none"> ・3章、4章 ディレクティブ解説に「BEYOND WEB 版」追加 ・3章 3-4 RALCBalancerParam 追加 ・3章 3-9 RALCCrawlerGroupFile: 1.2.0 以降従量課金ログカウンタに使用する旨の記述追加 ・3章 3-10 RALCCssCacheRefreshTime 追加 ・3章 3-36 RALCSourceEncoding: both オプション(1.2.0~)についての記述追加 ・3章 3-43 SetOutputFilter: 1.2.0 以降削除 ・4章 4-1 AddHandler: 1.2.0 以降削除 ・4章 4-2 RAICBalancerParam 追加 ・4章 4-3 RAICCacheRefresh 追加 ・4章 4-7 RAICCrawlerGroupFile 追加 ・4章 4-8 RAICEngine 追加
第7版	2010年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・3章 3-6 RALCChargeId は従量課金対象ライセンスで必須の旨の記述追加 ・3章 3-7 RALCChargeLogFile は従量課金対象ライセンスで必須の旨の記述追加 ・3章 3-12 RALCEngine 記載のないときのデフォルト設定を、「On」から「Off」に変更 ・4章 4-6 RAICChargeId は従量課金対象ライセンスで必須の旨の記述追加 ・4章 4-7 RAICChargeLogFile は従量課金対象ライセンスで必須の旨の記述追加
第8版	2010年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・2章「ディレクティブ一覧」に RALCDefaultCacheRefreshTime ディレクティブを追加 ・3章 3-11 RALCDefaultCacheRefreshTime 追加
第9版	2010年9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・2章「ディレクティブ一覧」に RALCAppendBalancerParamHtml ディレクティブを追加 ・3章 3-3 RALCAppendBalancerParamHtml 追加 ・3章 3-5 RALCBalancerParam の利用可能ライセンスを修正、説明に RALCAppendBalancerParamHtml の設定による違いを追加
第10版	2011年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・2章「ディレクティブ一覧」に RALCTempRoot、

		<p>RAICTempRoot ディレクティブを追加</p> <ul style="list-style-type: none">・3 章 3-7 RALCTempRoot ディレクティブを追加・4 章 4-5 RAICTempRoot ディレクティブを追加
--	--	--

第1章 ディレクティブ一覧

1-1 ディレクティブ一覧

用途・目的	ディレクティブ名
ラウンドアバウト環境設定関連	
ラウンドアバウトの機能をオンまたはオフしたい	RALCEngine
ライセンスファイルのファイルパスを変更したい	RALCLicenseFile
	RAICLicenseFile
端末情報ファイルのファイルパスを変更したい	RALCTerminfoFile
リクエストヘッダから参照できる端末情報の項目名を変更したい	RALCTerminfoHeader
ImageMagick のホームディレクトリを変更したい	RALCImageMagickHome
	RAICImageMagickHome
画像変換キャッシュファイルの出力先を変更したい	RALCCacheRoot
	RAICCacheRoot
画像変換時の一時ファイル出力先を変更したい	RALCTempRoot
	RAICTempRoot
一時ファイル出力用のディレクトリを変更したい	RALCWorkRoot
	RAICWorkRoot
サイト非対応端末からのアクセスを特定の URL にリダイレクトさせたい	RALCUnsupportUrl
サイト非対応端末の設定ファイルパスを変更したい	RALCUnsupportFile
端末の独自グルーピング設定ファイルのパスを変更したい	RALCDeviceGroupFile
クローラーのグルーピング設定ファイルのパスを変更したい	RALCCrawlerGroupFile
	RAICCrawlerGroupFile
同じサーバー上で複数の Apache を別プロセスで起動し各々でラウンドアバウトを使う場合に、メモリの競合を防ぐ	RALCServerNo
	RAICServerNo
言語変換機能関連	
変換シートのファイルパスを変更したい	RALCConversionSheetFile
拡張変換シートを追加したい	

用途・目的	ディレクティブ名
絵文字変換シートのファイルパスを変更したい 拡張絵文字変換シートを追加したい	RALCGlyphConversionSheetFile
変換シートを変更したら自動的に反映したい	RALCAutoReload
表示コントロール(PI)の機能をオンまたはオフしたい	RALCPI
HTML/XHTML で使用する文字エンコーディングを指定したい	RALCSourceEncoding
HTML/XHTML がサイズオーバーしている場合、エラーページを表示したい	RALCHtmlSizeOverUrl
端末のキャッシュサイズにより画像を表示し切れないとき、代わりにスペーサー画像を表示するかどうかを指定したい	RALCSpacerImage
ロードバランサー振り分け用のパラメータをつけて、決まったラウンドアバウトサーバーにリクエストが来るようにしたい	RALCAppendBalancerParamHtm ↓ RALCBalancerParam RAICBalancerParam
画像変換関連	
画像変換機能全体をオン/オフしたい	RALCImage
特定のパスについて画像変換をオン/オフしたい	RAICEngine
基準幅の画像を画面横幅いっぱいに表示したい	RALCAdjustImageScale
画像をオートスケーリングせず、画像切り替え機能を使用したい	RALCImgFileDispatch RALCImageAutoScaleGif RALCImageAutoScaleJpeg RALCImageAutoScalePng
画像サーバーを別に用意し、その画像ファイルを画像変換に使用したい	RALCImageServer
画像や Flash など外部リソースのファイルサイズを予め設定し、容量計算が正しくできるようにしたい	RALCImgReserveSize RALCObjectResourceSize
画像変換を行わせる画像ファイルの最大値(容量・サイズ)を設定したい	RAICMaxImagePixel RAICMaxImageSize
JPEG の圧縮率を常に落して画像変換し、レスポンスを早くしたい	RALCReduceJpeg
一定時間内に画像変換が完了しなかったとき処理をリトライするまでの時間を指定したい	RAICRetryTime

用途・目的	ディレクティブ名
リクエストの Last-Modified-Since を無視し、常にサーバーから画像を取得する	<u>RALCIgnoreCache</u>
画像変換モジュールで使用するパラメータ名を変更したい	<u>RALCRAICParamFormat</u>
	<u>RALCRAICParamIgnoreCache</u>
	<u>RALCRAICParamSize</u>
	<u>RALCRAICParamSpacer</u>
	<u>RALCRAICParamWidth</u>
	<u>RAICParamFormat</u>
	<u>RAICParamIgnoreCache</u>
	<u>RAICParamSize</u>
	<u>RAICParamSpacer</u>
	<u>RAICParamWidth</u>
課金ログ関連	
課金ログファイルの出力先や出力ファイル名を変更したい	<u>RALCChargeLogFile</u>
	<u>RAICChargeLogFile</u>
特定のユーザーエージェントからのアクセスについて課金ログカウントから除外したい	<u>RALCCrawlerGroupFile</u>
	<u>RAICCralwerGroupFile</u>
課金ログを出力するサーバーを識別できるような ID を設定したい	<u>RALCChargeId</u>
	<u>RAICChargeId</u>
プロキシ機能関連 ※BEYOND のみ必要な設定です	
リモート先の CSS ファイル更新をラウンドアバウトに反映させたい	<u>RALCCssCacheRefreshTime</u>
リモート先のインラインリソースファイルの更新をラウンドアバウトに反映させたい	<u>RALCDefaultCacheRefreshTime</u>
ページを処理したラウンドアバウトサーバーに、そのページ上の画像リクエストが行くよう設定したい	<u>RALCBalancerParam</u>
	<u>RAICBalancerParam</u>
内容が更新されない特定の画像パスについて、キャッシュ更新確認機能をオフにしパフォーマンスを上げたい	<u>RAICCacheRefresh</u>
特別な設定 ※通常設定を変更することはありません	
オートスケーリング時の、画面横幅に対する自動スケール比率を調整したい	<u>RALCImageScale</u>

用途・目的	ディレクティブ名
ブラウザ幅を超える画像をリサイズ変換する際の横幅設定を調整したい	<u>RALCImageResizeGroup</u>

第2章 初期状態

ラウンドアバウト設定ファイル(roundabout.conf、roundabout-vhost.conf)の初期状態です。ラウンドアバウトのインストール先によっては次の設定ファイルの編集が必要になります。

2-1 roundabout.conf の編集

(インストール手順書通りに各ファイルを配置した場合、編集不要です。)

```
#モジュールを配置したパスを指定
LoadModule ralc_module modules/mod_ralc.so
LoadModule raic_module modules/mod_raic.so
<IfModule mod_ralc.c>
#ライセンスファイルパス指定
    RALCLicenseFile      /var/roundabout/conf/roundabout.lic
#端末情報ファイルパス指定
    RALCTerminfoFile     /var/roundabout/conf/terminfo.csv
#ImageMagick インストールディレクトリパス指定
    RALCImageMagickHome /usr
#キャッシュディレクトリパス指定
    RALCCacheRoot       /var/roundabout/cache
#画像変換用の一時ディレクトリパス指定
    #RALCTempRoot       /tmp
#作業ディレクトリパス指定
    RALCWorkRoot        /var/roundabout/work
#クローラーグループファイルパス指定
    RALCCrawlerGroupFile /var/roundabout/conf/crawler-group.csv
#従量課金ログファイルパス指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
    #RALCChargeLogFile  /var/roundabout/logs/charge.log
#従量課金 ID 指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
    #RALCChargeId       server01
#サーバー番号(ラウンドアバウトが同じサーバー上に1つの時は使用しません)
    #RALCServerNo       1
#ロードバランサーパラメータ設定(名前と値の定義)
```

```

#各キャリア絵文字画像を配置しているパス指定
Alias /glyph/ "/var/roundabout/glyph/"
#glyph ディレクトリのアクセス設定
  <Directory "/var/roundabout/glyph/">
    Options None
    AllowOverride None
    Order allow,deny
    Allow from all
  </Directory>
#変換シートの自動リロード設定
  RALCAutoReload      Off
</IfModule>

<IfModule mod_raic.c>
#ライセンスファイルパス指定
  RAICLicenseFile     /var/roundabout/conf/roundabout.lic
#ImageMagick インストールディレクトリパス指定
  RAICImageMagickHome /usr
#キャッシュディレクトリパス指定
  RAICCacheRoot       /var/roundabout/cache
# 画像変換用の一時ディレクトリパス指定
  #RAICTempRoot       /tmp
#作業ディレクトリパス指定
  RAICWorkRoot        /var/roundabout/work
#クローラーグループファイルパス指定
  RAICCrawlerGroupFile /var/roundabout/conf/crawler-group.csv
#従量課金ログファイルパス指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
  #RAICChargeLogFile  /var/roundabout/logs/charge.log
#従量課金 ID 指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
  #RAICChargeId       server01
#サーバー番号(ラウンドアバウトが同じサーバー上に1つの時は使用しません)
  #RAICServerNo       1
#ロードバランサーパラメータ設定(名前と値の定義)
  #RAICBalancerParam  server 01

```

以上でroundabout.confの設定は完了です。次にroundabout-vhost.confを編集します。

2-2 roundabout-vhost.conf を編集

(インストール手順書通りに各ファイルを配置した場合、編集不要です。)

```

<IfModule mod_ralc.c>
#端末情報ヘッダ設定のインクルード
    Include "conf/roundabout/terminfo-headers.conf"
    <Location "/">
#ラウンドアバウト全機能オン・オフ設定
    RALCEngine On
#変換用パラメータ追記オン・オフ設定
    RALCImage On
#PI 処理オン・オフ設定
    RALCPi On
#変換シートパス指定 (UTF-8 アプリケーション用)
    RALCConversionSheetFile /var/roundabout/conf/conversion-utf8.csv
#絵文字変換シートパス指定 (UTF-8 アプリケーション用)
    RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion-utf8.csv
#キャラクタエンコーディング指定 (UTF-8 アプリケーション用)
    RALCSourceEncoding UTF-8 both
#変換シートパス指定 (Shift_JIS アプリケーション用) ※初期インストール時無効です
    #RALCConversionSheetFile /var/roundabout/conf/conversion.csv
#絵文字変換シートパス指定 (Shift_JIS アプリケーション用) ※初期インストール時無効です
    #RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv
#キャラクタエンコーディング指定 (Shift_JIS アプリケーション用) ※初期インストール時無効です
    #RALCSourceEncoding Shift_JIS

#端末グループ設定ファイル指定
    RALCDeviceGroupFile /var/roundabout/conf/device-group.conf
#非対応端末設定ファイル指定
    RALCUnsupportFile /var/roundabout/conf/unsupport.csv
#非対応端末リダイレクト設定
    RALCUnsupportUrl None

```

#スペーサ変換オン・オフ指定

RALCSpacerImage Off

#JPEG サイズ縮小(任意)

RALCReduceJpeg On

#変換丸め幅設定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

RALCImageResizeGroup 1-119	96
RALCImageResizeGroup 120-200	120
RALCImageResizeGroup 201-221	200
RALCImageResizeGroup 222-299	240
RALCImageResizeGroup 300-313	300
RALCImageResizeGroup 314-319	314
RALCImageResizeGroup 320-419	320
RALCImageResizeGroup 420-640	480
RALCImageResizeGroup 641-9999	640

#自動スケールのオン・オフ切替設定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

RALCImageAutoScaleGif On

RALCImageAutoScalePng On

RALCImageAutoScaleJpeg On

#VGA 画像の QVGA アジャスト機能

RALCAdjustImageScale On

#画面横幅に対する自動スケール比率設定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

for VGA images

RALCImageScale 1-95	0.200
RALCImageScale 96-119	0.200
RALCImageScale 120-224	0.250
RALCImageScale 225-227	0.469
RALCImageScale 228-229	0.475
RALCImageScale 230-231	0.480
RALCImageScale 232-233	0.484
RALCImageScale 234-239	0.488
RALCImageScale 240-313	0.500
RALCImageScale 314-319	0.655


```
RALCImageScale 320-467 0.667
RALCImageScale 468-479 0.975
RALCImageScale 480-9999 1.000
```

#画面横幅に対する自動スケール比率設定(初期インストール時無効です。)

for QVGA images

```
#RALCImageScale 1-95 0.400
#RALCImageScale 96-119 0.400
#RALCImageScale 120-224 0.500
#RALCImageScale 225-227 0.938
#RALCImageScale 228-229 0.950
#RALCImageScale 230-231 0.960
#RALCImageScale 232-233 0.968
#RALCImageScale 234-239 0.976
#RALCImageScale 240-313 1.000
#RALCImageScale 314-319 1.310
#RALCImageScale 320-467 1.334
#RALCImageScale 468-479 1.950
#RALCImageScale 480-9999 2.000
```

#画像自動選択のブラウザ横幅指定と接尾文字指定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

```
RALCImgFileDispatch 1-139 _XS
RALCImgFileDispatch 140-219 _S
RALCImgFileDispatch 220-399 _M
RALCImgFileDispatch 400-799 _L
RALCImgFileDispatch 800-3000 _XL
```

#キャッシュサイズオーバー時のリダイレクト先 URL(任意)

```
# RALChtmlSizeOverUrl http://example.jp/size-error.html
```

#外部画像のデフォルトパスとサイズ指定(任意)

```
# RALCImgReserveSize http://example.jp/foo.gif 5120
```

#外部 Flash デフォルトパスとサイズ指定(任意)

```
# RALCObjectReserveSize http://example.jp/bar.swf 10240
```

```

#画像サーバーのローカルマッピングパスを設定する(任意)
#      RALCImageServer img1.example.jp /mnt/img1/htdocs
#ブラウザキャッシュの利用を無効にする端末グループを設定する
#(ラウンドアバウト 1.1.0 から使用可能)
      RALCIgnoreCache foma1x
      RALCIgnoreCache foma2x
#ロードバランサーパラメータ設定(URL に付加するかどうか)
      RALCAppendBalancerParamHtml On
#リソースファイルキャッシュ更新時間(BEYOND ライセンスをご利用の場合のみ)
      RALCDefaultCacheRefreshTime 3600
      RALCCssCacheRefreshTime 60
</Location>

<Location "/terminfo/reload">
#端末情報ファイルリロードハンドラ
      SetHandler ralc-terminfo-reload
      Order Deny,Allow
      Deny from all
      Allow from 127.0.0.1
</Location>

#変換後のフォーマットを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
      RALCRAICParamFormat      f
#変換後の画像ファイルサイズを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
      RALCRAICParamSize        s
#変換後の画像横ピクセル数を指定するパラメータ名の指定(編集不要)
      RALCRAICParamWidth       w
#変換後のスペーサー画像を使用するか指定するパラメータ名の指定(編集不要)
      RALCRAICParamSpacer      p
#ブラウザキャッシュの利用を無効化するか指定するパラメータ名の指定(編集不要)
#(ラウンドアバウト 1.1.0 から使用可能)
      RALCRAICParamIgnoreCache i
</IfModule>

```

```

<IfModule mod_raic.c>
#変換後のフォーマットを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamFormat      f
#変換後の画像ファイルサイズを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamSize        s
#変換後の画像横ピクセル数を指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamWidth       w
#変換後のスペーサー画像を使用するか指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamSpacer      p
#ブラウザキャッシュの利用を無効化するか指定するパラメータ名の指定(編集不要)
#(ラウンドアバウト 1.1.0 から使用可能)
    RAICParamIgnoreCache i

#画像変換対象となる画像のファイルサイズの上限[バイト]
    RAICMaxImageSize     204800
#画像変換対象となる画像の縦ピクセル数・横ピクセル数の上限[ピクセル]
    RAICMaxImagePixel    1280
#一定時間内に画像変換が完了しなかった場合、再変換を行うまでの時間[秒]
    RAICRetryTime        60
    <Location ~ ".*(¥jpg|¥jpeg|¥gif|¥png)$">
#画像変換機能オン・オフ設定
    RAICEngine On
#画像キャッシュ更新確認機能オン・オフ設定(BEYOND ライセンスをご利用の場合のみ)
    RAICCacheRefresh     On
    </Location>
</IfModule>

```

以上でroundabout-vhost.confの設定は完了です。

第3章 言語変換用ディレクティブ

3-1 SetHandler

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	SetHandler ralc-terminfo-reload
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	<p>端末情報ファイルを更新した際に、内容をラウンドアバウトに反映させるためのハンドラを設定します。設定する際は、Location・Allow・Deny ディレクティブと組み合わせて設定します。</p> <p>SetHandler ディレクティブは、Apache core に含まれています。</p>
デフォルト値	ralc-terminfo-reload
設定例	<pre><VirtualHost *:80> ServerName example.jp <Location "/terminfo/reload"> SetHandler ralc-terminfo-reload Order Deny, Allow Deny from all Allow from 127.0.0.1 </Location> </VirtualHost></pre>

3-2 RALCAdjustImageScale

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試

	用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCAdjustImageScale <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	<p>画像のオートレイアウト機能を使用している場合、QVGA 端末およびVGA 端末末端に対しては、QVGA/VGA 画像がブラウザ幅一杯まで表示されるように画像変換を行います。具体的には、対象画像がVGA サイズ(480px)の場合、ブラウザ幅が 222~240px の端末からアクセスすると画像幅が 240px となるように変換を行い、ブラウザ幅が 420~280px の端末からアクセスすると画像幅が 480px となるように変換を行います。また対象画像が QVGA サイズ(240px)の場合、ブラウザ幅が 222~240px の端末からアクセスすると画像幅が 240px となるように変換を行います。</p> <p>この設定を Off にした場合は、RALCImageScale で設定した画像縮小率に従って変換を行います。</p> <p>※<Directory>ディレクティブには対応していません。</p>
デフォルト値	On
設定例	<pre><Location /> RALCAdjustImageScale Off </Location></pre>

3-3 RALCApPENDBalancerParamHtml

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-EX 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.2.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCApPENDBalancerParamHtml <On / Off>
コンテキスト	ディレクトリ
説明	ラウンドアバウト導入サーバーがロードバランサ下にある構成において、ロードバランサが当該サーバーへ HTML リクエストを振り分けするためのパラメータをつけるかどうかを指定します。On 設定時、以下の URL(

ページ内リンクを除く全 URL)に RALCBalancerParam ディレクティブで指定したパラメータ名と値を追加します。

- ・a タグの href 属性
- ・form タグの action 属性 (method 属性が GET の場合は input タグを追加)
- ・リダイレクト時の Location ヘッダ

設定が Off の場合、もしくは設定が On でも RALCBalancerParam の設定がない場合は URL に振り分け用パラメータは付加されません。

デフォルト値

On

設定例

RALCAppendBalancerParamHtml On

3-4 RALCAutoReload

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-EX 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCAutoReload <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定
説明	リクエスト毎に変換シート・絵文字変換シート・ユーザー端末グループ設定ファイル・クローラーグループ設定ファイルを読み直すかどうかを設定します。この値が On の時は、リクエスト毎に変換シート・絵文字変換シート・ユーザー端末グループ設定ファイル・クローラーグループ設定ファイルを読み込みます。Off の時は、起動時に 1 度だけ読み込み、次回再起動まで、変更は反映されません。
デフォルト値	Off
設定例	RALCAutoReload Off

3-5 RALCBalancerParam

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-EX 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.2.0 以降

必須 / オプション	オプション
書式	RALCBalancerParam <パラメータ名> <値>
コンテキスト	サーバー設定
説明	ラウンドアバウト導入サーバーがロードバランサ下にある構成において、ロードバランサが当該サーバーへリクエストを振り分けするためのパラメータ名と値を指定します。 RALCBalancerParam で設定したパラメータ名と値は、RALCAAppendBalancerParamHtml デイレクティブの設定が On の場合、画像およびページ(URL) へのリクエストに付加されます。 RALCAAppendBalancerParamHtml デイレクティブの設定が Off の場合、画像へのリクエストに付加されます。
デフォルト値	なし
設定例	RALCBalancerParam server 01

3-6 RALCCacheRoot

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCCacheRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	画像ファイルの情報などを保持するために使用します。Apache の停止時には、ここで指定したディレクトリ以下に memcache.dat というファイルが出力されます。
デフォルト値	/var/roundabout/cache
設定例	RALCCacheRoot /var/roundabout/cache

3-7 RALCTempRoot

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版

	/長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.2.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCTempRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	画像変換、その他処理で一時的にファイルを出力する際に使用するディレクトリを指定します。RALCCacheRoot で指定したディレクトリと同じディスクデバイスになるように設定します。
デフォルト値	/tmp
設定例	RALCTempRoot /tmp

3-8 RALCChargeId

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション (ただし従量課金対象ライセンスでは必須)
書式	RALCChargeId <課金 ID>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルに出力する課金 ID を設定します。課金 ID に使用可能な文字は、半角英数字および「-」「_」です。
デフォルト値	なし
設定例	RALCChargeId server01

3-9 RALCChargeLogFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション (ただし従量課金対象ライセンスでは必須)
書式	RALCChargeLogFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルのパスを指定します。このディレクティブを指定すると

課金ログの出力が有効となります。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。

デフォルト値 なし
 設定例 RALCChargeLogFile /var/roundabout/logs/charge.log

3-10 RALCConversionSheetFile

関連モジュール mod_ralc
 利用可能ライセンス WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
 利用可能バージョン 1.0.0 以降
 必須 / オプション オプション
 書式 RALCConversionSheetFile <ファイルパス>
 コンテキスト サーバー設定
 バーチャルホスト
 ディレクトリ
 説明 変換シート CSV のファイルパスを指定します。変換シートは複数指定できます。複数の変換シートで同一のキーワードが指定されている場合は、後に指定された変換シートで記述されたルールが優先されます。また、<Location>ディレクティブと組み合わせることで、URL 毎に変換シートが指定可能です。URL が複数の<Location>ディレクティブに該当する場合は、先に指定された<Location>ディレクティブ内の設定が優先されます。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。
 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
 デフォルト値 /var/roundabout/conf/conversion.csv
 設定例 <Location /foo/>
 RALCConversionSheetFile /var/roundabout/conf/conversion.csv
 RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv
 </Location>

3-11 RALCCrawlerGroupFile

関連モジュール mod_ralc
 利用可能ライセンス WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)

利用可能バージョン	1.0.5 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCCrawlerGroupFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	クローラーグループ設定ファイルのパスを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。URL が複数の <Location>ディレクティブに該当する場合は、最後にマッチした<Location>ディレクティブ内の設定が優先されます。 バージョン 1.2.0 以降では従量課金でのクローラー判別にこのクローラーグループ設定が使用されます。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/crawler-group.csv
設定例	<Location /foo/> RALCCrawlerGroupFile /var/roundabout/conf/crawler-group.csv </Location>

3-12 RALCCssCacheRefreshTime

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	BEYOND WEB 版
利用可能バージョン	1.2.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCCssCacheRefreshTime <0 以上の数値[秒]>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	リモート先の CSS ファイルを再読み込みする間隔を指定します。設定値が 0 のときは、常にリモート先の CSS を読み込みます。
デフォルト値	60
設定例	<Location /foo/> RALCCssCacheRefreshTime 60 </Location>

3-13 RALCDefaultCacheRefreshTime

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	BEYOND WEB 版
利用可能バージョン	1.2.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCDefaultCacheRefreshTime <0 以上の数値[秒]>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	リモート先の JavaScript や Flash などのインラインリソースファイルを再読み込みする間隔を指定します。設定値が 0 のときは、常にリモート先のファイルを読み込みます。
デフォルト値	3600
設定例	<Location /foo/> RALCDefaultCacheRefreshTime 3600 </Location>

3-14 RALCDeviceGroupFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCDeviceGroupFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	端末グループ設定ファイルのパスを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。URL が複数の <Location> ディレクティブに該当する場合は、最後にマッチした <Location> ディレクティブ内の設定が優先されます。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/device-group.conf
設定例	<Location /foo/> RALCDeviceGroupFile /var/roundabout/conf/device-group.conf </Location>

3-15 RALCEngine

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCEngine <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	ラウンドアバウトの有効・無効を設定します。一部のパスに関して言語変換機能を無効にしたい場合にも使用します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	Off
設定例	/m/以下でラウンドアバウトを有効にするが、/m/foo/では無効化したい場合 <Location /m/> RALCEngine On </Location> <Location /m/foo/> RALCEngine Off </Location>

3-16 RALCGlyphConversionSheetFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCGlyphConversionSheetFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ

説明	<p>絵文字変換シートCSVのファイルパスを指定します。〈Location〉ディレクティブと組み合わせることで、URL毎に変換シートが指定可能です。URLが複数の〈Location〉ディレクティブに該当する場合は、先に指定された〈Location〉ディレクティブ内の設定が優先されます。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。</p> <p>※〈Directory〉ディレクティブには対応していません。</p>
デフォルト値	/var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv
設定例	<pre> <Location /foo/> RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv </Location> </pre>

3-17 RALCHtmlSizeOverUrl

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCHtmlSizeOverUrl <絶対 URL>
コンテキスト	<p>サーバー設定</p> <p>バーチャルホスト</p> <p>ディレクトリ</p>
説明	<p>HTML/XHTML コンテンツを変換後、コンテンツサイズがブラウザキャッシュサイズを上回った際にリダイレクトする URL を指定します。URL は絶対 URL で指定します。</p> <p>※〈Directory〉ディレクティブには対応していません。</p>
デフォルト値	#コメントアウトされています
設定例	RALCHtmlSizeOverUrl http://example.jp/size_over.html

3-18 RALCIgnoreCache

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)

利用可能バージョン	1.1.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCIgnoreCache <端末グループ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	リクエストの If-Modified-Since を無視し、常にステータスコード 200 で画像をレスポンスさせる対象端末グループを指定します。端末グループは複数指定できます。指定した端末グループからのリクエストが来た場合、画像 URL に If-Modified-Since の無視を指示するクエリパラメータを追加します。クエリパラメータ名は、RALCRAICParamIgnoreCache ディレクティブで指定します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCIgnoreCache foma1x RALCIgnoreCache foma2x

3-19 RALCImage

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImage <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	HTML 内の画像に対し、画像変換を使用するかどうかを指定します。Off に設定した場合、img タグに対する変換処理は行われず、ra:width 属性なども削除されません。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	<Location /m/> RALCImage Off

</Location>

3-20 RALCImageAutoScaleGif

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageAutoScaleGif <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	全ての GIF 画像に対して、縮小変換を行うかどうかを指定します。縮小時の比率は、RALCImageScale ディレクティブで設定します。この設定値が Off の場合でも、タグに ra:width="on" と指定すれば、そのタグの画像だけは、RALCImageScale ディレクティブの設定に従って縮小されます。
デフォルト値	On
設定例	RALCImageAutoScaleGif On

3-21 RALCImageAutoScaleJpeg

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageAutoScaleJpeg <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	全ての JPEG 画像に対して、縮小変換を行うかどうかを指定します。縮小時の比率は、RALCImageScale ディレクティブで設定します。この設定値が Off の場合でも、タグに ra:width="on" と指定すれば、そのタグ

の画像だけは、RALCImageScale ディレクティブの設定に従って縮小されます。

デフォルト値 On
 設定例 RALCImageAutoScaleJpeg On

3-22 RALCImageAutoScalePng

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageAutoScalePng <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	全ての Png 画像に対して、縮小変換を行うかどうかを指定します。縮小時の比率は、RALCImageScale ディレクティブで設定します。この設定値が Off の場合でも、タグに ra:width="on" と指定すれば、そのタグの画像だけは、RALCImageScale ディレクティブの設定に従って縮小されません。
デフォルト値	On
設定例	RALCImageAutoScalePng On

3-23 RALCImageMagickHome

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCImageMagickHome <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定

説明	ImageMagick のホームディレクトリ(インストールディレクトリ)を指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで 1 度だけ設定します。
デフォルト値	/usr
設定例	RALCImageMagickHome /usr

3-24 RALCImageResizeGroup

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageResizeGroup <ブラウザ横幅の開始>-<ブラウザ横幅の終了> <画像変換後の横幅>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	ブラウザ横幅を超える画像を変換する際の画像変換後の横幅ピクセル数を指定します。この設定は、アクセスした端末のブラウザ横幅ごとに設定できます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	なし
設定例	RALCImageResizeGroup 1-119 96 RALCImageResizeGroup 120-200 120 RALCImageResizeGroup 201-221 200 RALCImageResizeGroup 222-319 240 RALCImageResizeGroup 320-419 320 RALCImageResizeGroup 420-640 480 RALCImageResizeGroup 641-999 640

3-25 RALCImageScale

関連モジュール	mod_ralc
---------	----------

利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageScale <ブラウザ横幅の開始>-<ブラウザ横幅の終了> <画像変換後の横幅>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	RALCImageAutoScaleJpeg、RALCImageAutoScaleGif、RRALCImageAutoScalePng が有効の時、又は img タグで ra:width="on" 属性が指定された場合の縮小スケールを設定します。等倍率の場合は 1 を指定します。1 より小さい値を指定した場合は、画像が縮小されません。1 より大きい値を指定した場合、img タグの width 属性と height 属性による画像の引き延ばしが行われます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	なし
設定例	RALCImageScale 1-95 0.200 RALCImageScale 96-119 0.200 RALCImageScale 120-224 0.250 RALCImageScale 225-227 0.469 RALCImageScale 228-229 0.475 RALCImageScale 230-231 0.480 RALCImageScale 232-233 0.484 RALCImageScale 234-239 0.488 RALCImageScale 240-319 0.500 RALCImageScale 320-467 0.667 RALCImageScale 468-479 0.975 RALCImageScale 480-999 1.000

3-26 RALCImageServer

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)

利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageServer <ホスト名> <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess (1.0.4 以降)
説明	画像サーバーのドキュメントルートを設定します。この設定は、画像サーバーが NFS などマウントされている場合にのみ、使用できます。ドメイン名は画像を参照する URL を指定します。ドキュメントルートに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCImageServer img1.example.jp /mnt/img1/htdocs

3-27 RALCImgFileDispatch

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImgFileDispatch <ブラウザ横幅の開始>-<ブラウザ横幅の終了> <ファイル名の末尾>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	img タグで指定された画像をブラウザ横幅ごとに切り替えを行います。ファイル名の末尾には、拡張子を除いたファイル名のうち、末尾部分を指定します。切り替えの対象は、img タグの src 属性でファイル名の末尾がいずれかの RALCImgFileDispatch にマッチする img タグです。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	1-139 _XS 140-219 _S 220-399 _M

	400-799 _L
	800-3000 _XL
設定例	RALCImgFileDispatch 1-219 _s
	RALCImgFileDispatch 220-479 _m
	RALCImgFileDispatch 480-999 _l

3-28 RALCImgReserveSize

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImgReserveSize <絶対 URL> <コンテンツサイズ>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	画像や Flash といった外部リソースに対して予約するコンテンツサイズを指定します。この設定は画像変換対象の画像に対するコンテンツサイズ決定フェーズにして使用されます。URL は絶対 URL のプレフィックスを指定します。コンテンツサイズはバイト単位で指定します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCImgReserveSize http://adv.example.jp/xxx.cgi 5120

3-29 RALCLicenseFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCLicenseFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	言語変換モジュールのライセンスファイルパスを指定します。ファイルパ

スに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで1度だけ設定します。

デフォルト値 /var/roundabout/conf/roundabout.lic
 設定例 RALCLicenseFile /var/roundabout/conf/roundabout.lic

3-30 RALCObjectResourceSize

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCObjectResourceSize <絶対 URL> <コンテンツサイズ>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	画像や Flash といった外部リソースに対して予約するコンテンツサイズを指定します。この設定は画像変換対象の画像に対するコンテンツサイズ決定フェーズにして使用されます。URL は絶対 URL のプレフィックスを指定します。コンテンツサイズはバイト単位で指定します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCObjectReserveSize http://adv.example.jp/xxx.swf 10240

3-31 RALCPi

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCPi <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ

説明	表示コントロール(PI)の有効・無効を設定します。 なお、表示コントロールを無効にした場合でも、画像切り替え機能は無効となりません。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	<Location /m/> RALCPi Off </Location>

3-32 RALCRAICParamFormat

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCRAICParamFormat <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RAICParamFormat と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	f
設定例	RALCRAICParamFormat f

3-33 RALCRAICParamIgnoreCache

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.1.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCRAICParamIgnoreCache <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト

説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RAICParamIgnoreCache と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	i
設定例	RALCRAICParamIgnoreCache i

3-34 RALCRAICParamSize

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCRAICParamSize <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。RAICParamSize と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	s
設定例	RALCRAICParamSize s

3-35 RALCRAICParamSpacer

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCRAICParamSpacer <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RAICParamSpacer と、同じ値にする必要があります。

デフォルト値	p
設定例	RALCRAICParamSpacer p

3-36 RALCRAICParamWidth

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCRAICParamWidth <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCParamWidth と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	w
設定例	RALCRAICParamWidth w

3-37 RALCReduceJpeg

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCReduceJpeg <On/Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	JPEG の画質を 95%以下に削減するかどうかを指定します。Off に設定すると、画像変換を行う必要のない JPEG は、変換せずに出力します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	RALCReduceJpeg On

3-38 RALCServerNo

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.5 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCServerNo <サーバー番号(1-255)>
コンテキスト	サーバー設定
説明	同じサーバー上でラウンドアバウトを 2 つ以上動作させる場合に、各ラウンドアバウト毎に一意的番号を指定します。ラウンドアバウトを 1 つだけ動作させる場合は指定する必要はありません。
デフォルト値	-
設定例	RALCServerNo 1

3-39 RALCSourceEncoding

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降 ※both オプションは 1.2.0 以降のみ
必須 / オプション	オプション
書式	RALCSourceEncoding <UTF-8/EUC-JP/Shift_JIS> <both>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	HTML コンテンツのキャラクタエンコーディングを指定します。UTF-8、EUC-JP、Shift_JIS のみ、指定できます。 UTF-8 の場合はオプションに both を指定することで、アプリケーションへ渡されるフォーム送信データのエンコーディングが UTF-8 となります。また、au、mova、willcom 以外の端末へのレスポンスのエンコーディングが UTF-8 になります。
デフォルト値	Shift_JIS
設定例	<Location /m/>

```
RALCSourceEncoding UTF-8 both
</Location>
```

3-40 RALCSpacerImage

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCSpacerImage <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	画像変換の際に画像サイズを限界まで縮小してもキャッシュサイズオーバーとなりそうな場合、スペーサー画像への変換を行うか、行わないかの設定をします。行わない場合は、画像の alt 属性が表示されません。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	<Location /m/> RALCSpacerImage Off </Location>

3-41 RALCTerminfoFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCTerminfoFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	端末情報ファイルのパスを指定します。端末情報ファイルはライセンスファイルに対応したファイルのみが使用できます。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。こ

の設定は、サーバーレベルで1度だけ設定します。

デフォルト値	/var/roundabout/conf/terminfo.csv
設定例	RALCTerminfoFile /var/roundabout/conf/terminfo.csv

3-42 RALCTerminfoHeader

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCTerminfoHeader <端末情報項目名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	リクエストヘッダに設定する端末情報ヘッダの項目を指定します。ヘッダ名は X-RA-<端末情報項目名> となります。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCTerminfoHeader Carrier RALCTerminfoHeader Device-Name

3-43 RALCUnsupportFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / Lite版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.2以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCUnsupportFile <非対応端末設定ファイルのパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	非対応端末設定ファイルのパスを指定します。非対応端末ファイルは、デバイスIDを列挙したテキストファイルです。非対応端末ファイルを指定した場合

は、リクエストヘッダ X-RA-Unsupport が追加され、アプリケーション側へ渡されます。非対応端末からアクセスされた場合はヘッダの値が 1 となり、対応端末の場合は値が 0 となります。RALCUnsupportUrl ディレクティブで参照される非対応端末設定ファイルは、このディレクティブで指定します。なお製品出荷時の設定では、非対応端末設定ファイルはラウンドアバウト非推奨端末のリストです。

※<Directory>ディレクティブには対応していません。

デフォルト値

なし

設定例

```
<Location />
  RALCUnsupportFile /var/roundabout/conf/unsupport.csv
</Location>
```

3-44 RALCUnsupportUrl

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCUnsupportUrl <リダイレクト先 URL / None>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	非対応端末からのアクセス時のリダイレクト先 URL を設定します。 RALCUnsupportUrl に None を指定した場合は、指定したコンテキスト内でリダイレクトを行わないように設定することができます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	None
設定例	通常、非対応端末からのアクセス時は http://xxx/unsupport.html にリダイレクトするが、/test/以下へのリクエスト時にはリダイレクトを行わないようにする例。 <Location /> RALCUnsupportUrl http://xxx/unsupport.html </Location> <Location /test/>

RALCUnsupportUrl None

</Location>

3-45 RALCWorkRoot

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCWorkRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	実行時に使用する一時的なファイルを出力するディレクトリを設定します。このディレクトリに出力されるファイルは、Apache 起動中は削除しないでください。
デフォルト値	/var/roundabout/work
設定例	RALCWorkRoot /var/roundabout/work

3-46 SetOutputFilter

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0~1.1.1
必須 / オプション	必須
書式	SetOutputFilter RALC
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	RALC を有効にする<VirtualHost>ディレクティブや<Location>ディレクティブ・<LocationMatch>ディレクティブ内で指定します。SetOutputFilter ディレクティブは、Apache core に含まれています。 ※バージョン 1.2.0 でこのディレクティブは削除されました。「RALCEngine On」の記述のみの設定へと変更されています。ただし、互換性のため指

デフォルト値

設定例

定することもできます。

RALC

```
<VirtualHost *:80>
```

```
    ServerName example.jp
```

```
    <Location /foo/>
```

```
        SetOutputFilter RALC
```

```
    </Location>
```

```
</VirtualHost>
```

第4章 画像変換用ディレクティブ

4-1 AddHandler

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0~1.1.1
必須 / オプション	必須
書式	AddHandler raic <拡張子> <拡張子> ...
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	RAIC を有効にする VirtualHost ディレクティブや Location ディレクティブ・LocationMatch ディレクティブ内で指定します。 AddHandler ディレクティブは、Apache core に含まれています。 ※バージョン 1.2.0 でこのディレクティブは削除されました。「RAICEngine On」へと変更されています。ただし互換性のため指定することもできます。
デフォルト値	jpg jpeg .gif .png
設定例	<VirtualHost *:80> ServerName example.jp <Location /foo/> AddHandler raic jpg jpeg .gif .png </Location> </VirtualHost>

4-2 RAICBalancerParam

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	BEYOND WEB 版
利用可能バージョン	1.2.0 以降

必須 / オプション	オプション
書式	RAICBalancerParam <パラメータ名> <値>
コンテキスト	サーバー設定
説明	ラウンドアバウト導入サーバーがロードバランサ下にある構成において、ロードバランサが当該サーバーへリクエストを振り分けするためのパラメータ名と値を指定します。
デフォルト値	なし
設定例	RAICBalancerParam server 01

4-3 RAICCacheRefresh

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	BEYOND WEB 版
利用可能バージョン	1.2.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICCacheRefresh <On/Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	キャッシュされた画像の更新確認を行うかどうかを指定します。
デフォルト値	On
設定例	RAICCacheRefresh On

4-4 RAICCacheRoot

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版 (Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICCacheRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換後の画像キャッシュファイルを保存するディレクトリのパスを指

定します。サーバーレベルで設定した場合は、全ての VirtualHost で同じ設定が試用されます。VirtualHost で設定した場合は、設定した VirtualHost 内だけに適用されます。この設定が適用されていないホストに対しては、画像変換は行われません。このディレクトリには Apache 実行ユーザーが書き込み可能な権限が必要です。

デフォルト値 /var/roundabout/cache
 設定例 RAICCacheRoot /var/roundabout/cache

4-5 RAICTempRoot

関連モジュール mod_raic
 利用可能ライセンス WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
 利用可能バージョン 1.2.2 以降
 必須 / オプション オプション
 書式 RAICTempRoot <ディレクトリパス>
 コンテキスト サーバー設定
 説明 画像変換、その他処理で一時的にファイルを出力する際に使用するディレクトリを指定します。RAICCacheRoot で指定したディレクトリと同じディスクデバイスになるように設定します。
 デフォルト値 /tmp
 設定例 RAICTempRoot /tmp

4-6 RAICChargeId

関連モジュール mod_raic
 利用可能ライセンス WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
 利用可能バージョン 1.0.3 以降
 必須 / オプション オプション (ただし従量課金対象ライセンスでは必須)
 書式 RAICChargeId <課金 ID>
 コンテキスト サーバー設定
 説明 課金ログファイルに出力する課金 ID を設定します。課金 ID に使用可能な文字は、半角英数字および「-」「_」です。
 デフォルト値 なし

設定例 RAICChargeId server01

4-7 RAICChargeLogFile

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション (ただし従量課金ライセンスでは必須)
書式	RAICChargeLogFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルのパスを指定します。このディレクティブを指定すると課金ログの出力が有効となります。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。
デフォルト値	なし
設定例	RAICChageLogFile /var/roundabout/logs/charge.log

4-8 RAICCrawlerGroupFile

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.2.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICCrawlerGroupFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	従量課金でクローラー判別に使用するクローラー設定ファイルのパスを指定します。
デフォルト値	なし
設定例	RAICCrawlerGroupFile /var/roundabout/conf/crawler-group.csv

4-9 RAICEngine

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)

利用可能バージョン	用版(Seed) 1.2.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICEngine <On/Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	画像変換モジュールの変換機能を有効化するかどうかを指定します。 一部のパスに関して画像変換機能を無効にしたい場合にも使用しま す。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	Off
設定例	<Location ~ "(¥.jpg ¥.jpeg ¥.gif ¥.png)\$"> RAICEngine On </Location>

4-10 RAICImageMagickHome

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試 用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICImageMagickHome <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	ImageMagick のホームディレクトリを指定します。ファイルパスに相対パ スを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。こ の設定は、サーバーレベルで 1 度だけ設定します。
デフォルト値	/usr
設定例	RAICImageMagickHome /usr

4-11 RAICLicenseFile

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試

利用可能バージョン	用版(Seed) 1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICLicenseFile <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	画像変換モジュールのライセンスファイルパスを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで1度だけ設定します。
デフォルト値	<code>/var/roundabout/conf/roundabout.lic</code>
設定例	RAICLicenseFile <code>/var/roundabout/conf/roundabout.lic</code>

4-12 RAICMaxImagePixel

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICMaxImagePixel <ピクセル数>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換対象となる画像の縦・横ピクセル数の最大値を指定します。
デフォルト値	1280
設定例	RAICMaxImagePixel 1280

4-13 RAICMaxImageSize

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICMaxImageSize <サイズ>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト

説明	画像変換対象となる画像ファイルの最大サイズをバイト数単位で指定します。
デフォルト値	204800
設定例	RAICMaxImageSize 204800

4-14 RAICParamFomrat

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamFormat <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamFormatと同じ値にする必要があります。
デフォルト値	f
設定例	RAICParamFormat f

4-15 RAICParamIgnoreCache

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.1.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamIgnoreCache <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamIgnoreCacheと同じ値にする必要があります。
デフォルト値	i

設定例 RAICParamIgnoreCache i

4-16 RAICParamSize

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamSize <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamSize と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	s
設定例	RAICParamSize s

4-17 RAICParamSpacer

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamSpacer <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamSpacer と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	p
設定例	RAICParamSpacer p

4-18 RAICParamWidth

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamWidth <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamWidth と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	w
設定例	RAICParamWidth w

4-19 RAICRetryTime

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICRetryTime <秒数>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	一定時間内に画像変換が完了しなかった場合にリトライするまでの時間を秒数で指定します。
デフォルト値	60
設定例	RAICRetryTime 60

4-20 RAICServerNo

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / BEYOND WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.5 以降

必須 / オプション	オプション
書式	RAICServerNo <サーバー番号(1-255)>
コンテキスト	サーバー設定
説明	同じサーバー上でラウンドアバウトを2つ以上動作させる場合に、各ラウンドアバウト毎に一意的番号を指定します。ラウンドアバウトを1つだけ動作させる場合は指定する必要はありません。
デフォルト値	-
設定例	RAICServerNo 1

4-21 RAICWorkRoot

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB版 / BEYOND WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発版 / 長期試用版(Seed)
利用可能バージョン	1.0.0以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICWorkRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	実行時に使用する一時的なファイルを出力するディレクトリを設定します。このディレクトリに出力されるファイルは、Apache 起動中は削除しないでください。
デフォルト値	/var/roundabout/cache
設定例	RAICWorkRoot /var/roundabout/cache